

ダイターミネーター シークエンシング反応後の核酸精製用マイクロスピカラム (AutSeq G-50)

- わずか5分間の操作で未反応ダイターミネーターの除去が可能
- エタノール沈殿に比べて簡便かつ短時間でダイターミネーター シークエンシング反応後の核酸精製が可能
- 膨潤済ゲルを充填しているのですぐに使用可能

製品名	包装	製品コード
AutoSeq G-50	50本	27-5340-01
AutoSeq G-50	250本	27-5340-02
AutoSeq G-50	1000本	27-5340-03

AutoSeq G-50はダイターミネーター法サイクルシークエンス反応後の未反応ダイターミネーター除去用スピカラムです。エタノール沈殿に比べて簡便かつ短時間で精製でき、プライマー付近の解析精度も向上します。防腐剤入りなので室温で保存可能です。

コンポーネント

AutoSeq G-50 カラム
Sephadex G-50 F DNA Grade in
H₂O(0.05% Kathon CG/ICP
Biocide含む)
*遠心チューブは付属していません

保存温度

AutoSeq G-50 : 室温

必要な機器

1.5ml遠心チューブをセットでき、
2,000×g (4,600 rpm)まで回転で
きる遠心機

オプション: 準備する試薬

100 mM EDTA, pH8.0溶液
(EDTA2ナトリウム塩を滅菌水
に溶解し、水酸化ナトリウム溶
液を用いてpHを調整してくださ
い。カラム1本につき10 µl必要で
す。)

簡易プロトコール

1. (オプション。通常は省略) キャップをはずして100 mM EDTA溶液を10 µl加えて再度キャップする。
2. ゲルをボルテックスでよく懸濁する。
3. キャップをゆるめ、カラムの先端を折る。
4. 1.5 mlのスクリューキャップ式遠心チューブにカラムをセットし、2,000 × g (4,600 rpm) ・室温で1分間遠心する。
5. カラムのキャップをはずし、ゲルの中央にサンプル (12~25 µl)をゆっくり添加する。
6. 新しい1.5 ml遠心チューブにカラムをセットし、2,000 × g (4,600 rpm) ・室温で1分間遠心する。
7. 精製DNAはチューブに溶出されます。
8. DNAを回収し、溶液を真空乾燥して、-20°Cで遮光保存する。
9. 指定のローディングバッファーに溶解してシークエンサーへアプライする。

ワンポイントアドバイス

EDTA添加後キャップを締める時に、キャップの内側の空気に押されてカラム内の溶液が溢れる場合があります。十分量のEDTAを添加していますので、液が溢れても、パフォーマンスには変わりありません (操作 1)

フタ付の1.5 ml遠心チューブを使用した場合、遠心でカラムの保存液が十分溶出しにくいことがあります。サンプルの回収率が低くなるため、スクリューキャップ式の深底の1.5 ml遠心チューブを使用するか、新しい遠心チューブにかえて再度遠心してからご使用ください (操作 4)

バッファーを溶出したカラムは、レジンの乾燥を防ぐためすぐに使用してください (操作 5)

DYEnamic ET Terminator Cycle Sequencing Kitをご使用の場合には、精製したサンプル熱変性せずにアプライして下さい。なお、これ以外のシークエンシングキットをご使用の場合には、必ず製品添付書の内容に従ってください (操作 9)。